

# 姥ヶ山自治会報

第 75 号

発 行 者  
姥ヶ山自治会  
吉岡富三雄

印 刷  
新潟マイクロコンピュータ株

平成二十八年四月三十日現在

姥ヶ山自治会動向

世帯数 一、四二〇戸

班 数 一一五班

## 会長職二期目に向かって

姥ヶ山自治会長 吉岡富三雄

会員の皆様には常日頃、自治会活動に御理解と御協力を頂きまして誠に有難う御座います。

今年の役員改選で再び会長に推薦・承認され向こう二年間、継続してこの役を担う事となりました。

私にとつて此れまでの二年間はブロック活動及び専門部の活動を多面に亘つて観察してきた期間でもありました。そこで感じ取れた是正点を新任の挨拶の抱負を踏襲しつつ関係役員と相談しながら実行に移し、より身近な存在として参加型の自治会を構築していこうと考えています。

この地域が交通の至便と公共の医療・防災・スポーツ施設並びに民間の大型商業店舗が揃ったことよつて更に人気地域となつたことは大手建託会社による集合住宅の建設に拍車をかける結果となつており、その件数が激増し当自治会の全戸数に占める集合住宅の戸数は今や約七百件と半数に膨れ上がつて来ております。

このことは都市化の進捗と共に薄れがちになる隣近所とのコミュニケーションの欠如が懸念され特に集合住宅に入居している方々が顕著で如何にしてその会員に事業・行事を知らしめ参加して貰うかが課題ですが既にその対策としてネット上にホームページを設けており回覧が回らない所でも自治会の活動を知ることが可能ですので、それ

を知つても貰うことを行います。

また事業所（法人）との関係に於いては会員の皆様にその存在を紹介し知つて貰うことを行い、利用可能なものについては利用して貰うこともコミュニケーション向上の一つと考えています。

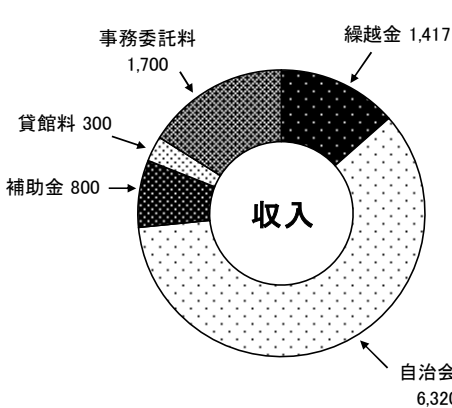
一方、戸建住宅にお住いの方々は各種事業・行事に多く参加されるようになり良好な傾向となっています。

最近では春のクリーン作戦と称する地域内のごみ拾いには過去に類を見ない150名もの会員の皆様が参加され会館前の広場は溢れ、道路まではみ出る程でした。ブロック長をはじめとした関係者の自治会活動に関する周知並びに会員の皆様の御理解の賜物と感謝し喜んでおります。

次に自治会等を支える役員に、より多くの皆様からなつて頂きたいと思ひは良い結果が得られず、よつて一人の役員が重複して役を担っている結果となり自分の力不足を感じています。

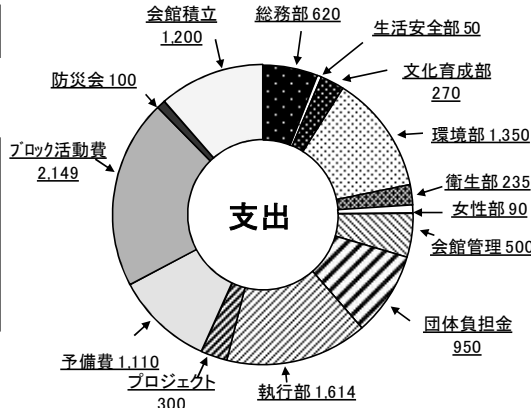
今後は更に会員の皆様の理解を得る努力をしながら協力を頂き、役のシエアリング（分け持つ）をしていきたいと思ひます。このことの背景には就業年齢の拡大や高齢者を抱えて介護する女性の会員が多くなつてゐる事に起因し協力を得難い世相が伺えます。

尚、執行部役員に於いては各種事業・行事催行後の「事業実施報告書」の提出が定着し、過去の当該文書を見て反省点を是正して新たな事業を企画展開しておりマンネリ化防止となつてゐます。今後も改善努力を惜しまずに進化する自治会を目指します。

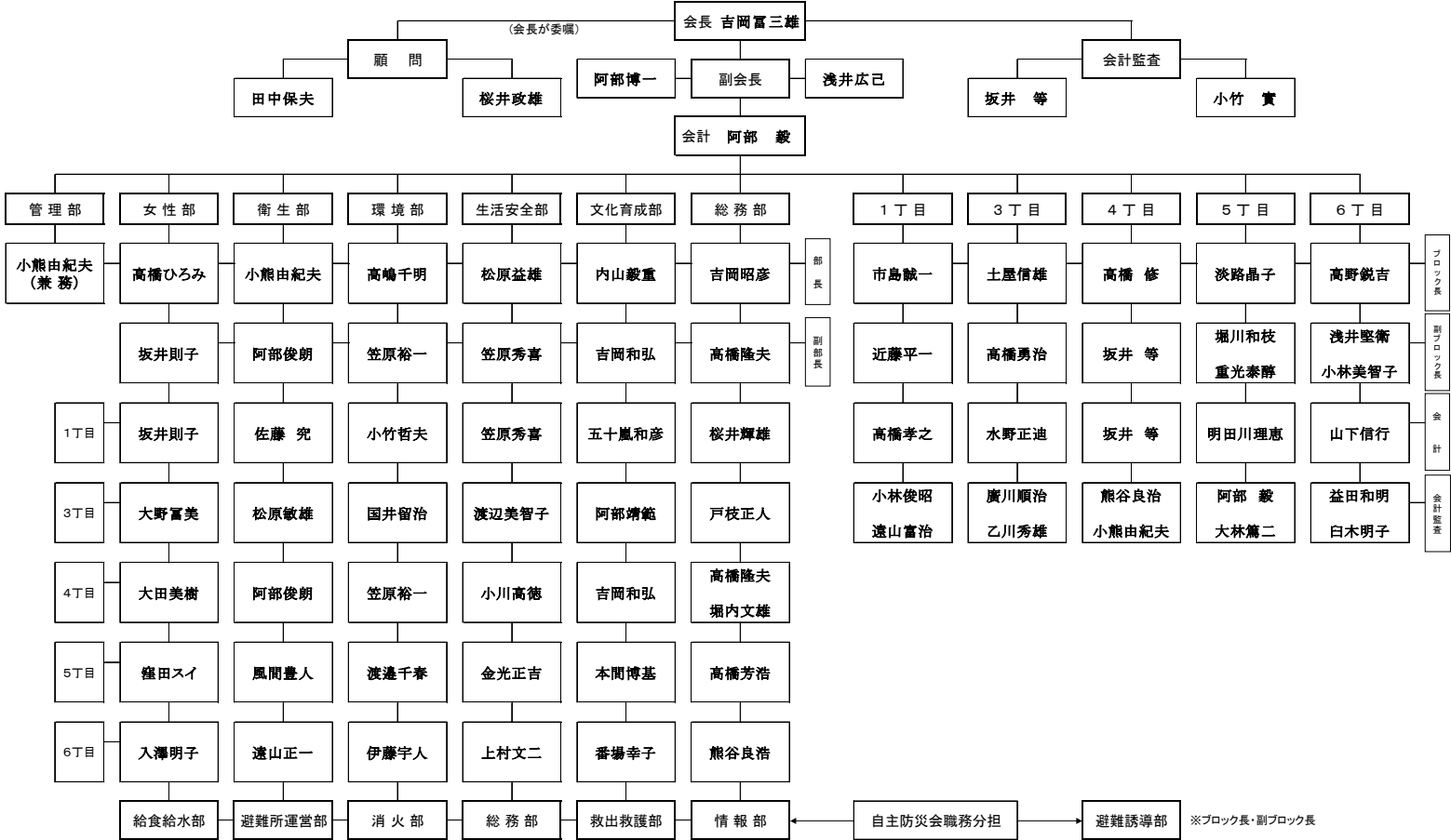


## 平成28年度予算

予算総額  
10,537,094円  
(グラフ内金額単位: 千円)  
※詳細は総会予算書を参照



## 平成28年度 姥ヶ山自治会組織図



退任挨拶

前自治会副会長 利根川高雄

永らく姥ヶ山自治会の役員を務めてきましたが、この度退任することとなりましたので姥ヶ山自治会の推移について簡単に説明いたします。

① 姥ヶ山自治会は、昭和三十二年二月に戸数一二〇戸で発足しました。

② 昭和五八年四月新しく部長会が導入されました。役員としましては、会長・副会長・会計の三名に専門部（総務・環境・文化・補導）の部長・副部长計十一名で構成されています。更に隣組長三十一名を加えて四十二名の組織です。私は、総務部副部长を任命されました。当時は参考になるような自治会活動をしている組織も無く手探り状態での発足です。

③ ブロック制の導入  
部長制導入以来、様々な変遷がありました。がブロック制の導入が一番組織として効果的と思われま

す。④ 第1次ブロック制は、平成二年四月に導入され、各ブロック長は全員副会長に就任する…等々です。

⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

④ 自分の自治会役員としては、昭和五十八年の総務部就任以来三十三年間、なぜか再任されてきました。

⑤ 私事で恐縮ですが、昨年十二月に、急性白血病により入・退院を繰り返し、皆様には大変ご迷惑をお掛けし、ここにお詫び申し上げます。

⑥ 以上、現在までの自治会活動の概要について簡単に説明しましたが、三十三年間にわたり皆様方のご協力に心より感謝申し上げ退任のご挨拶とさせていただきます。

退任にあたり

前自治会副会長 野澤正榮

自治会副会長退任挨拶の冒頭になりますが、四月六日の朝、高熱が出て市民病院に入院(十日間)することになり、四月七日の山潟小学校の入学式を欠席し、更に四月十日の自治会総会についても出席出来ず、副会長としての任務を果たすことが出来なかったことについて、自治会役員の皆様始め、総会出席者の皆様には大変御迷惑をかけてしまい大変申し訳なくお詫び致します。

さて、二年前副会長就任にあたり、私は、自治会の課題の一つに自治会館を当初計画案である平成二十九年を目標に建設するために、建設小委員会の一員として努力をして来ましたが、特に平成二十五年五月三十一日の姥ヶ山自治会報六十九号で皆様に明らかにした内容で建設するため検討してまいりました。

しかし、この二年間の建設小委員会の会議で資金問題が主題となつて来ましたが、当初案が決つた時には建設資金問題を含めて明らかにして来たものであります。

私自身は、最後まで当初案の二階建を主張して来ましたが、結果として現在の会館より多少大きい、平家建てと言うことで、二十八年度の総会で当初案の変更と建設時期を含めて提案されたと聞きましたが、今後どうなるのか見守つていきたいと思ひます。

私が何故二階建にこだわつたかという、災害時一時避難として受け入れることが出来るものとして考えて来たからであります。

最近の災害を見る時、避難する所が不足している所を見るにつけ、資金

問題で縮小した案で本当に良いのか、疑問でならないのであります。

今回提案されたものを含めて、自治会館建設に対して皆様方の率直な意見を出して戴きたいと思つているところであります。

最後になりましたが、この度の役員改選で副会長を退任することになりました。この間、ブロック長を含めて八年間、役員各位に支えられながら何とか勤めることが出来た事に感謝申し上げます。

本当にこの二年間、副会長の任務をまともに遂行出来なかったことをお詫び申し上げます、退任の挨拶と致します。

退任挨拶

前管理部長 坂井 等

平成二十七年年度末にて、管理部長を退任することとなりました。

これまでに、会館の修繕やトイレの改修工事をしたり、年間を通しての清掃活動などで多くの方々の協力を得て会館の維持・管理に努めてきました。

最初の頃は、ゴミ箱に飲食物の残りがあふれて異臭がすることもありました。が、ゴミ箱を撤去し、総てのゴミの持ち帰りをお願いしてきました。

最近では、飲食後の後始末も徹底されており、いつも片付いております。これからも地域の活動の拠点として大いに利用していただけたらと思つております。



十年を振り返り

前自治会会計 小竹 實

平成一八年四月より会計を五期十年務め退任することになりました。

私が姥ヶ山に来て約三〇年なりますがその間に大規模開発(陸上競技場、野球場、ショッピングセンター、ホームセンターなど)が行われ目覚ましく発展してきました。

姥ヶ山地域には、四月の地藏堂祭、八月の諏訪神社大祭、一月のサイの神など一年を通じて昔からの伝統行事があり、今も大勢の地域住民が参加して盛大に行われています。

自治会活動費も十年前と比べて予算規模は約五十万円増えて、一千八十万円(世帯数約一千四百戸)になりました。

収入では、自治会費(約十七万円)、補助金(約三十二万円)、新潟市の事務委託費(約十八万円)など世帯数が約七十戸増、会館使用料(約十七万円)は少なくなりました。

支出では、専門部(約二十六万円)減(自治会員の参加する行事は減らさず)、執行部(約二十九万円)増、会館整備積立金(約八十五万円)は増えています。

自治会や地域活動に参加することにより多くの方と知り合いになり私の大きな財産になりました。



ブロック長退任挨拶

前五丁目ブロック長 小林 章

五丁目ブロック長退任に当たり率直な感想をのべてさせていただきます。

一は、最初の一年間が超多忙できつかったことです。一年目は、県警察最後の一年でありました。平成二六年三月に刑事部長を拝命し、同時にブロック長となりました。直後の四月上旬、新発田警察署管内で女性の他殺遺体が発見され、特別捜査本部設置となりその最高責任者となりました。以来一年間、土日夜間もほとんど休めず、町内の業務と重なり非常に疲れる一年でした。他の役員にもご迷惑をおかけしました。二年目は、時間的に余裕ができ乗り切れたと感じています。

二は、良いメンバーに恵まれました。副ブロック長はじめ役員の方々に恵まれ、各々仕事などがある中お互いカバーしながら楽しく仕事ができました。

三は、家内が良くサポートしてくれました。特に一年目は大変多忙でしたが、妻が良く適切な連絡役となり助けてくれました。捜査本部から帰宅する前にも夜間、自宅にテレビや新聞記者が取材に訪れましたが、その対応や自治会の連絡などしつかりやつてくれました。感謝しています。

四は、自治会活動についての認識が変わりました。正直、役員になるまでは、班長も含め自治会の仕事は煩わしい、できればやりたくないと考えていました。しかし、自治会長さんはじめ皆さんが積極的に取り組んでいることを目のあたりにして頭が下がりました。今後は、できる範囲で自治会活動にかかわつていこうと思ひます。

二年間、大変ありがとうございました。

新任副会長です

自治会副会長 浅井広己

図らずも副会長を申しつけられ少々戸惑つては居るのですが、初めて自治会役員を引き受けた時には、「なんで！」この思いばかりに囚われていましたが、文化育成・総務と長く務めさせて貰っている間に、この地域には沢山の人が様々な所で沢山の団体に所属しながら、この地域の為に、動いて下さる事を見せて貰い、「なんで！」などと考えていた自分の肩身が狭く、浅はかなのを痛感させられていました。自分勝手な事ばかりの人生でこんな形で故郷の為に少しでも役に立てるなら、それは嬉しい事だと思います。又、地域の諸先輩や有能な後輩との交わりも楽しい事。出来る事しか出来ませんが大目に見て下さい。

副会長として

～皆さんと共に～

自治会副会長 阿部博一

この度、副会長となりました。どうか、よろしく願います。私はついこの3月まで4丁目ブロック長を務めました、そこで感じた事は、自治会活動は自分たちの地域をより住みやすくするために自分たちが主体となつて活動し、繋がりを深め、さらにふれあいの輪を広げながらゴミの問題や地域福祉、道路、防犯、防災など地域の共通課題を解決するためにとっても大事な活動ではないかということです。そうしたことから、今後、副会長としての務めを果たしながら、皆さんと共に少しでもお役にたてるよう、活動していきたいと考えています。

新任会計です

自治会会計 阿部 毅

今年度から、自治会の会計をやれ、とのお話があり、お引き受けしましたが、いわゆる自治会活動としては、その時々につまみ食いのお手伝いをさせて頂いておりました。それだけの経験では、はなはだ心許ないではありませんが、誰かがやらなければいけないのが自治会活動であるとは思っておりますのでお引き受けいたしました。何分にも前任の小竹實さんがなんと十年！の長きに亘り自治会の会計を切り盛りされてこられました。（小竹さん、お疲れ様でした。）前任に比べ、なにかとご迷惑をお掛けする場面も多々あるかとは思いますが、皆様方のご協力・ご支援の下進めていきたいと思っております。よろしく願います。

部長新任挨拶

文化育成部長 内山毅重

この度文化育成部長に就任致しました。高嶋鉄板部長の後任という事で大変なプレッシャーを感じております。文化育成部の大きな役割の中に、夏休みラジオ体操と、町民大運動会があります。両イベント実施にあたり、一人でも多くの参加者実現の為、又より楽しい時間を過ごしていただく様、アイディアを部門の皆様と話し合っている所です。就任初年度故に不慣れな部分も多々あるかと思いますが、前職の経験も生かし、精一杯努力をしてゆきたいと思っております。加えて種々の準備、開催時には、自治会の皆様の、御理解と御支援をお願いし、就任の挨拶と致します。

ブロック長就任にあたり

一丁目ブロック長 市島誠一

このたび新たに一丁目のブロック長を務めさせて頂くことになりました。十五年以上前に総務部員を務めました、その後自治会は歴代役員の皆様のご尽力により、大きく発展してきたと思っております。今の日本の課題は、なんと言つても少子高齢化の進行であると考えます。姥ヶ山地域も例外ではありません。だからこそ子ども一人ひとりの健やかな成長が大切であり、地域住民が力を合わせる事が重要となつてきます。私は、地域の皆様及び先輩役員の皆様方のご理解とご協力をいただき、微力ながらブロック長の責任を果たして参りたいと思っております。どうかよろしく願います。

ハロー警報

四丁目ブロック長 高橋 修

まさかのブロック長をさせられるはめになつてしまいました。幼少のころから人見知りが激しく、人の名前を覚えるのが大の苦手です。街中で知り合いとすれ違つても、気づかないことがよくあります。これから積極的に挨拶をしたいと思ひますので、皆様も気軽に声を掛けください！おはようございます、こんにちわ、こんばんはと、一年三百六十五日、ハロー警報発令中の明るいコミュニティーになればと思います。飲ミニケーションがないとコミュニケーションがとれない私ですが、地域の皆様、並びに役員各位のバックアップとご協力を宜しくお願い致します！

ブロック長就任にあたり

五丁目ブロック長 淡路晶子

今年四月より二年間、五丁目ブロック長を務めることになりました。五丁目歴代ブロック長の挨拶文を拝読いたしますと、除雪問題、アパートの方々との地域交流の薄さ等多々あります。たつた二年間、されど二年間。この若輩者が、人生の諸先輩方とともにどこまでブロック長としての役割を果たすことができるでしょうか。幸いにも、四月から五丁目ブロック会議で顔を合わせている役員の皆様それぞれ役割をこなしている姿は、ブロック長として学ぶ姿です。「己の役割を果たすこと」「方聞いて沙汰するな」を心構えとし、二年間、執行部役員の皆様と協力し合い務めていきたいと考えております。よろしく願います。

さいの神

実行委員長 小熊由紀夫

実行委員長として二回目のさいの神でしたが、今年の一月十日、大勢の人達のご協力によつて、無事に終えることが出来ました。昨年十一月の準備は、好天に恵まれ作業がやり易く助かりましたが、孟宗竹の切り出しは重労働で、今回はここにもう少し人員が必要かと思ひました。一月の本番当日は、少し天気の崩れはあったものの、この時期としては良い方であつたと思います。この行事は、地域住民と子どもたちが一緒になつて製作作業をするもので、この交流は大事なことです。最後に、ご協力いただいた関係者の皆様に、厚く御礼を申し上げます。



参加者 三八〇名  
スルメ 三三〇枚（完売）



準備作業参加者 八十一名  
内、小中学生 二十五名



健康講演会

生活安全部長 松原益雄

二月十四日(日)に、健康講演会を開催し、五十六名の方にご参加頂きました。講師には、二年前にもお願いした、大越章吾先生(日本歯科大学内科学講座 教授・医科病院 院長と、姥ヶ山で開院されている古嶋博司先生(ふるしまクリニック 院長)の医学博士お二人にお願いしました。

講演は、大越先生は「肝臓病」、古嶋先生は「心臓病」と、それぞれの専門分野をテーマとした内容で、両先生ともお話が上手でわかりやすく、途中で笑いも入り、とても楽しく聴かせて頂きました。

また、その後の質問コーナーも盛況で、皆さん、各自の体調や病気についてや、病院を移りたいがどうすればよいか等、ざつくばらんに質問されましたが、先生方からは丁寧にご回答いただけたようです。

今回のような、異なる分野の講演を同時に聴けるというのは、新潟大学や新潟市医師会主催の市民公開講座では無いことで、貴重な講演会であったと思っています。

両先生には、講演料とは程遠い僅かな謝礼にも関わらず、この講演会のために、それぞれ六十ページのスライドを事前にご準備頂いておりました。この紙面にて、あらためて厚く御礼を申し上げます。

生活安全部の主な業務は、自治会防災会としての防災訓練の企画・運営ですが、毎年それ以外に独自事業を行っています。今年度は、「防犯講演会」を予定しておりますので、ご参加頂けますよう、お願いいたします。



質問コーナー



古嶋博司先生



大越章吾先生



地蔵堂に響く調べ

満開の桜も散り始めた、ある朝、地蔵堂のお祭りのポスターを目にして、四月十六日の催しにお邪魔しました。

地蔵様にクラシック音楽？ 妙な取り合わせと思われるが、小編成の弦楽四重奏は、最初に、折から現在進行中の熊本地震被害者の為、バツハの「G線上のアリア」が演奏され、続いて、モーツアルトの「セレナーデ」(アイネクライネ ナハトムジーク)、山田耕筰の小品メドレー、ビバルディの「四季」より「春」等の楽曲のハーモニーは堂内の空間に広がり、演奏家と膝を接する位、間近の聴衆を魅了するものでした。

当日、新潟室内合奏団を招かれた、企画の新しい感性に敬意を表します。祭礼はその後、甘酒の接待、草餅つき、読経のあと供物のお菓子撒き等が行われ、幼老の皆さんは春の到来を喜び、一日を楽しまれた事でしよう。

六体の地蔵様も妙な調べをお聴きになり、ことさら柔和なお顔に拝されました。石佛山地蔵堂は姥ヶ山発祥の地と言われ、諏訪社と共に私達地域住民の心の拠り所と言えます。

今日の様な催しは、単なる宗教的行事を超え、地域の文化的行事であり、かつての村落の歴史を紡いで来た先人先輩の方々の思いにも沿うものであると思います。

普段から地蔵堂の維持管理に努められる講中の方々、行事運営に携われた皆さんに、今日は良いものを聴かせて戴き、お礼申し上げます。

姥ヶ山五丁目 岡部久一



春の午後  
弦楽の響く  
地蔵堂



編集後記

訃報

悲しいお知らせをしなければなりません。六月十日午前九時、前自治会副会長の利根川高雄さんがお亡くなりになりました。

本誌第二面の退任のご挨拶文をいただいた翌日のことでした。文中にもございますように、利根川さんは、昭和五十八年四月から三十三年間にわたり、姥ヶ山自治会の役員を務められ、この地域を支えてくださいました。「使命感」「先見性」「決断力」に優れた方で、姥ヶ山自治会の発展に大きく貢献された方です。非常に残念です。心からご冥福をお祈りいたします。

「参加型の自治会」

本誌自治会長の文中「参加型の自治会」とありました。素晴らしいなあと、ドキツとしました。参加型とは、行事に参加するということだけではなく、自分の意見を遠慮なく言うことで、会運営に参加するということも含まれるのだと気付かされました。

Y・K

投稿募集

最近気になること、ちょっとした話、サラリーマン川柳など、まじめなご意見から笑えるお話を募集しています。発行は、毎年2回です。詳しくは、各ブロックの総務部までお問い合わせ下さい。